生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合会報

とくしま かがわ えひめ こうち

発行 2008年10月1日 通券 7号

(CO:OP) 9生協の夢広がるネットワーク 始動!! 安全政策推進室!

2008年5月に「安全政策推進室」が始動しました。「商品事故については組織全体で対応する」という考えにより、専務部局として新たに新設されました。





安全政策推進室 中尾統括部長

コープCSネット非食商品部主催

第5回 重点商品学習交流会開催!!

2008年8月7日(木)おかやまコープオルガ本部にて、コープCSネット 非食商品部主催 第5回重点商品学習交流会が開催されました。





CONTENTS

ページ

- 2 始動!! コープCSネット 安全政策推進室!
- 3 コープCSネット非食商品部主催 第5回電点商品学習な流会開催 1.1
- 4 品質保証部が行く!
- 「ふぁみ~ゆ」10日1回」
- 6 「ふぁみ~ゆ」10月1回より 全会員生協での共同調達!!
- 7 コープCSネットトピックス!
- 8 会議報告・数値報告・私たちの生協です!

コープCSネットも例外ではありません。初代 安全政策推進室 統括部長には中尾泰和が就任しました 専務部局として新たに新設された部署です。CSR(企業の社会的責任)が問われる昨今: 2008年5月に 安全政策推進 室 |が始動しました。 「商品事故については組織全体で対応する」という考えにより



信表明を語る

在もなお十分に払拭されていません 合員の中国商品に対 んできた食の安全に対する信 围 |製ギョウザ 单 ・毒事件は生協がこれ する不信感・不安感を強め 頼を大きく損ない れまで取

提起されました。 係わる総合政 策を実施してきましたが 必要を感じまし かった食品テロに対する防 この事件の真相はまだ究明されていませんが 政策の立 。また日常的 7 プCSネットはア 安全政策推 一御や広範な人命危害の拡散防止といった新たな課題が な商 品クレ 進室の新設もそのひとつです。食の安全に この事件から得 ム情報などの管理もより深化させる 、私たちがこれまで想定 た教訓をもとに様々な対 していな

ただけるような品質管理 改めて言うまでもなく **;導、これまで複数部署で分** ブCSネット 頼を早期に回 ル情報の 四品クレ 案や関係部門 安全·安心 t 」と評 生協組 e y m 品質保証 元管理、 \mathbf{S} m 価して |復し 事 a ņ ※

プCSネットの品質方針

基本姿勢

て取

り組んでいきます

ベルを実現できるよう

使

命感を持

さすがコー

損なわれた信

限いの第

一は商品の

プCSネットは、会員生協から受託している無店舗事業における商品・サービスの提供活動において、 会員生協並びにその組合員(顧客)の満足の最大化を図るため、国際規格ISO9001にもとづく品質マネジ メントシステムを確立し、維持します。

QMS審査の様子

の点検

散管理されてい

た商

流

トラブル 0 t

そしてQMS

u S

a

e e

m e

n

S

局が主な業務です

コープCSネットは、変化する顧客ニーズを的確に捉え、年次の品質目標を明確にし、高品質の商品・サー ビスの提供を確実にするための業務プロセスを確立するとともに、PDCAサイクルの効果的運用によってそ の有効性を継続的に改善します。

品質方針

- 「安全安心」の組合員の願いやくらしと要求の変化、法令・規制の動向、コープCSネットの独自基準を踏 まえ、商品の開発・見直し及び商品・サービスの提供をすすめます。
- 商品検査、工場点検、取引先評価等を通じて常に品質を監視・測定し、科学的検証に裏打ちされた商 品を実現し、維持します。
- 組合員の声を大切にし、運営に反映させます。組合員からの要望やクレームに対して誠実・迅速に対応 **3** し、解決を図ります。
- 4 組合員の立場に立って、正直で正確でわかりやすく、ミスのない商品情報の提供をすすめます。
- 中国四国地域の農・水・畜産資源を活用し、地産地消を推進するとともに、地域経済の活性化に貢献し ます。
- すべての取引先と公正・対等なパートナーシップを確立し、顧客満足の向上のために、ともに学び、ともに 6 改善します。
- 上記各項の実行を確実にできるよう役職員の教育をすすめ、力量の向上を図ります。

この品質方針は、コープCSネットの組織内外に公開し、すべての役職員に周知徹底を図るとともに、取 引先にも働きかけを強めます。

> 2006年8月31日 生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合(略称:コープCSネット) 専務理事 森武司





社、コープCSネットから19名の参加があり、活気のある学習交流会となりました。 促進MVP受賞者の表彰と事例報告、2008年度下期重点商品についての学習と分散会を行いました。当日は、 2008年8月7日(木)おかやまコープ オルガ本部にて、コープCSネット非食商品部主催 第5回重点商品学習交流会を開催しました。2008年上期供給 中国四国地区9生協から79名、お取引き先

2008年度上期供給促進MV P

受賞されました。供給促進 促進MVP 活動に貢献した5名を表彰 す。各会員生協の供給促進 MVPは、「全会員生協が、 斉に供給促進をする商品 重点商品)」が対象になりま 2008年度上期供給 」は、5名の方が

どの感想を多く頂きました。 の強さだろうと思いました」 をしているというわけではない 例を聞くと、"特別" るのはうれしいです」一実践事 実際の現場の声が全体に伝わ 事例発表は勉強になります 会員生協職員からは、 商品学習交流会に参加した 実践事例が報告されました。 MVP受賞職員の取り組み 供給促進の事例発表では からの意識、 なこと 、「実践 、努力



青山統括部長

MVPの表彰を受ける藤岡さん



信をもってお勧めしたことが成功に

商品名 生協名 MVP受賞者 4月3回 生協しまね 佐藤 和道 さん ベルーシオ薬用ホワイトニングベース 生協ひろしま 藤岡 槙 さん 6月1回 コープえひめ 小川 浩治 さん 洗剤キャンペーン こうち生協 中平 公樹 さん 6月4回 鳥取県生協 泉 慎二 さん コアノンロールキャンペーン

MVP受賞の職員。左からこうち生協 森さん(中平さんの代理)、鳥取県生協 泉さん、コープえひめ 児玉(小川さんの代理)さん、 生協ひろしま 藤岡さん、生協しまね 佐藤さん、コープCSネット青山部長

2008年度 点商品の説明と分散会

より配布時にアピールすることや自発表する泉さん。「注文書回収時コアノンキャンペーンの実践事例を

学習交流会は、大成功でした。 そうです」などの感想を頂きました。第5回重点商品 だった供給促進のマネジメントを主体的にすすめられ もできました」「自分自身が供給促進の日程を事前に り下げることで、それぞれの迷いも分かり、 聞けて、とても参考になりました」「一つの事例を深く掘 職員からは、「実際に供給実績が高い会員生協の話が また、各会員生協供給促進責任者もオブザー はさんで9つのグループに分かれて、分散会を行いました。 ノとなり、供給促進の手法について交流を行いました。 に供給促進の方法を交流しました。参加した会員生協 分散会では、「どのようにご利用頂くのか」をメイン からの重点商品についての説明があり、昼食を 今まで上 司に任せきり 、新たな発見



昼休憩の時間を利用して各自が興味の -スへ行きます。直接、取引先業者やベン、特長を聞くことができるので、好評でした。







男性職員も化粧品を使用してみて効果を確かめます。自分の体験したことが供給促進に生きてきます。



化粧品の商品特長を説明する山田バイヤ-

コープCSネット品質保証部組織図

コープCSネット品質保証部は3課で構成され、それぞれに品質に関わる業務を担っています。

品質保証部	主な業務	対象範囲
品質管理課	(1)商品クレーム対応業務 (2)商品仕様書点検 (3)工場点検業務	コープCSネットが調達する食品全般
商品検査課	(1)商品検査業務	コープCSネットが調達する食品全般
非食品質管理課	(1)新商品点検 (2)クレーム管理 (3)不適合製品の是正及び再発防止	コープCSネットが調達する非食商品全般

品質管理課 ~クレーム対応業務~

- ●品質保証部は、会員生協生協クレーム窓口・事業所からの農産品以外の食品のクレームを、 手順書に沿って対応し、受付後2週間以内の調査回答を原則としておこなっています。
- ●会員生協とのコミュニケーションをはかりながら、クレームシステムを活用することにより、迅速 な情報の伝達と間違った伝達を防止し、クレーム対応の効率化を目指しています。

【クレーム対応の手順は、受付、調査、回答の3つがあります】

受付業務

各クレーム担当者が、会員生協から出荷された現品を確認レクレーム内容との照合を行います。 クレーム現品は、内容を正確に把握します。



取引先への調査依頼

品質保証部として回答内容や調査結果に疑問点が発生した場合は、調査を継続し具体的な 改善対策と再発防止を要請します。



回答

回答書は、取引先からの回答内容を確認し、会員生協組合員が読んで内容を理解できるよう、 分かりやすい表現で、簡潔・的確な文章にします。

~工場点検~ 品質管理課

- ●コープCSネットで行う「工場点検」は、「コープCSネット開発商品」「会員生協のPB開発商品」 「無店舗事業で取扱う一般商品(NB)」を主な対象として実施しています。
- ●「コープCSネット開発商品 |と「会員生協のPB開発商品 |の点検は年1回必ず実施する「定 期点検」と新商品の製造に立会う「初回製造立会い」があります。いずれも商品仕様との整合 性、製造環境・製造管理状況、原料のトレースバック等の点検確

認を実施します。

工場点検

定期点検

・商品仕様との整合性、製造環境・製造管理 状況、原料のトレースバック等の点検確認

初回製造立会い

- 新商品の製造に立会ます。
- 点検内容は「定期点検」と同じ



工場点検。商品仕様書どおりに商品が製造 されているか点検します。製造工場が海外の

- ●点検にあたっては、まず、取引先に事前要請を行います。規定の書式により、自己点検の実施 要請をし、点検時にその内容を確認・評価します。特に重要な確認は、コープCSネットや会員 生協との約束に沿って商品が製造されているかです。点検の基本資料となるのが「商品仕様書」 です。「商品仕様書」は、正確に作成されていることが必要です。また、2008年度からは、「特定原 材料の使用状況」について深耕した取組みを計画しています。点検終了後は商品部各課と情 報共有化をするために報告資料の回覧や判定・評価に取組みます。工場点検を通して、商品 製造における整合性や衛生環境の確保が保証されます。また、自己評価や相互確認をするこ とにより取引先との信頼できる基盤つくりがベースになると考えています。
 - 注1「トレースバック」とは、この場合、原料原産地の確認を指します。
 - 注2「商品仕様書」とは、コープCSネットで取り扱う食品の原材料、製造工場などが記載された書類の ことです。品質管理課では、使用されている添加物がコープCSネットの基準に適合しているかな どを点検します。工場点検業務では、「商品仕様書」に記載されている通り食品が製造されてい るかを点検します。原材料保管に不具合はないか、原材料の製品配合比率に不具合がないか、 製造工場は清潔に保たれているか、点検項目は多岐にわたります。

商 事 品 故 200 事故 の教訓に基づい 08年2月に につい ては 組織 て C コープ 全体 Ō Ò Ć P 手 作 対 Sネッ 応するために り餃 は 子」重大食中毒事故が発生 品 質 、専務統 保 証 面 括部 で 組 織体制 署として「品質保証部」を位置づけました。 を強化 食品の安全を揺るがす社会問題 まし に発展 しました。

亩

は

品質保証

一部の主な業務内容を紹介します



品質保証部 浜田統括部長

商品検査課 商品検査:商品選定から検査結果のアウトプットまでの流れ

- ①商品案内チラシより検査商品を選定します。
- ②検査商品の特性を考慮し、仕様書など確認しながら検査項目を決定します。
- ③検査項目など検査に必要な情報をデータシステムに入力します。
- 4検査を実施し、結果をデータシステムに入力します。
- ⑤結果はCSネット微生物基準ならびに食品衛生法等に基づき判定し、不適合がある場合は再検査を実施します。また、検査結果を製造元に送付します。
- ⑥月ごとのデータをまとめて理事会報告に記載しています。

【検査の種類】

微生物検査

- ①新規取扱い商品事前検査を実施しています。(企画10週前に検査実施し、不適合な場合は再検査を実施します。検査結果が基準に適合しない場合は、取り扱いできません。)→おかやまコープへ検査委託
- ②流通商品検査(毎企画30前後の商品について抜きとり検査を実施しています。基準不適合なものは、不適合の度合いに応じて再検査、企画中止、回収などの対応を行います。)→コープやまぐちへ検査委託

理化学検査

- ①食品添加物、成分規格等の検査は、PB商品を中心に毎企画10前後実施しています。→コープやまぐちへ検査委託
- ②残留農薬検査は、産直農産品、加工食品、米について検査を実施しています。→コープやまぐち、おかやまコープへ検査委託
- ③DNA検査は、PB米、肉について毎年検査結果を取引先から入手、ないし、外部検査機関にて検査を行っています。
- *上記について、検査の立案、計画、データ管理、検査結果の判断をCSネット商品検査室にておこなっております。 また、再検査やクレーム検査等についてもCSネットで判断し、検査実施しています。

非食管理課 ~クレーム対応~

会員生協組合員からのクレームに対して、その内容を詳しく理解する為に現品を確認し、取引先に送りクレームの原因を調べています。取引先より調査内容の報告を受け、不明な点や不十分な点をやり取りし、会員生協組合員に回答として返却しています。

クレームの中でも重大なクレーム(ケガをされた等)や多発しているクレームについては、通常のクレームとは別にし、より詳しい調査を依頼します。調査依頼をしたクレームは何故起こったのか原因究明をして再発防止の為の対策をとるためです。(調査結果によっては商品の企画を中止させて頂く場合もあります。)

非食品質管理課としてクレームの原因究明はもちろんですが、今後同じクレームを出さない為の再発防止の行動もおこなっております。

非食管理課 ~新商品点検について~

企画予定の商品について、現品とチラシ原稿と商品仕様書を照合し、点検をおこなっております。一ヶ月に約800件ありますが、現品やチラシ表示に間違いはないかどうか、組み立てる物については実際に組み立てられるかも確認致します。原稿や商品仕様書の商品説明が「コープCSネットチラシ表示規準」と合致しているか、仕様書では使用されている原材料がコープCSネットの基準に適合しているか点検いたします。また、商品の効果を表現した物については、効果を証明できる試験データや検査書の点検も行っております。新商品点検では書面の点検だけではなく、商品モニターなども行ない商品の確認を行っております。

上記の点検の中で不明な点や確認事項があった場合は、改善の要請を行い、改善された商品を再度点検し、合格した商品だけを会員生協組合員に供給しています。

コープCSネットの品質保証部のメンバーは、職員・派遣職員 を合わせて20名です。この20名が、中国・四国の会員生協組合 員さん150万人の生活を守っています。

工場点検では、商品が「商品仕様書」通りに製造されることで偽りがないことを確認します。

クレーム対応では、原因を特定し再発させない仕組みを作ります。

商品検査では、供給した商品の安全性を確認します。

非食商品の新製品導入時は、実際に商品を使ってみて安全 性を確認しています。

様々な点検や商品検査、クレームの「原因追求と再発防止」を的確かつ迅速に行うことが品質保証部の使命です。

この地道な取組みがあるから、私たちコープCSネットは組合 員さんへ自信を持って商品をお届けできるのです。 品質保証部では、PB商品製造メーカーを対象に 品質保証説明を開催しています。



「ふぁみ~ゆ」10月1回より全会員生協での共同調達!!

<u>~「ふぁみ~ゆ」 倉本バイヤーインタビュー~</u>

2008年10月1回より、コープかがわで「ふぁみ~ゆ」の受注がスタートしました。「非食媒体」「味彩(あじさい)」に続き、中国・四国の全会員生協での共同調達となります。

「味彩」が、製法や素材選びを厳選した商品など「日常の食」に「楽しみの食」をプラスした商品を提供しているのに対して「ふぁみ~ゆ」は、「人にやさしい、食と快適用品の生活提案」「ヒューマンケア」を目指した商品を品揃えしています。「ふぁみ~ゆ」は、フランス語で「家族【famille】」を意味しています。主に団塊ジュニアから40歳代にむけた媒体でもあり、新規組合員拡大にも利用できるツールとなっています。今回は、「ふぁみ~ゆ」食品分野担当の倉本バイヤー(コープCSネット食品分野では唯一の女性バイヤーです)に、「ふぁみ~ゆ」のに対する思いをお聴きしました。

倉本バイヤーにお聴きしました

「ふぁみ~ゆ」は、組合員の家族の健やかな暮らしやゆとりあるライフスタイルを大切に提案しています。扱っている商品は、ベビーフードをはじめお菓子、調味料や乾物、穀物、豆と様々です。素材を大切に、3食(朝・昼・晩)をおいしく食べられ、紙面を通して献立や素材のおいしさがイメージできるように心がけて作成しています。例えば、乾物などのシンプルな素材が持つ味は、五感(視覚、聴覚、触覚、味覚、嗅覚)を使ってじっくり味わって頂きたいと願っています。乾物って家族に毎日食べてもらいたいですよね。人は食べることで自分の体を作っています。食べることは生きる力を養っていくため最低限必要なことです。作り手は食べる人の好みや体のことを考えて作りたいし、食べる人は五感を使って五味(塩・甘・辛・酸・苦)を味わってもらえば豊かな食の経験が身に付くように思っています。「ふぁみ~ゆ」が、"素材のおいしさ"に出会える場になって欲しいと思います。

また、最近はアレルギーをお持ちのお子さんも増えています。アレルギーと 上手に付き合っていただくための食品を品揃えし、アレルギーをお持ちのお子さんや そのお母さんのお手伝いができればと考えています。



「ふぁみ~ゆの主な商品ラインアップ紹介」

- ●ベビーフードは、お子さんが食べやすい商品を品揃えし、育児で忙しいお母さんを応援します。
- ●お母さんだって、いつも「元気に綺麗」でいたいもの。お母さんに不足しがちな 鉄分、ビタミンなどのサプリメント(栄養補助食品)も豊富に品揃えしています。
- ●毎日家族に食べてもらいたい乾物や減塩調味料など、毎日の暮らしに役立つ 食品も品揃えしています。
- ●アレルギーをお持ちのお子さんは、食べるものが制限されています。私たちが何気なく食べているものも、ほんの少しの量でもショック症状で命に関わることもあります。「家族の中にアレルギーをお持ちのお母さんへ食事作りのお手伝いになれば」という視点で品揃えしています。



「ふぁみ~ゆ」が、"素材のおいしさ"に出会える場になってほしい、という倉本バイヤーの思いが伝わってきました。人の一生と食べ物の関係は、深いものです。幼い頃に食べた食事の中には、包みこむように温かくて、本当におしくて「忘れられない味」になっているものもありますよね。これからも「ふぁみ~ゆ」は、組合員さんの「ゆとりある豊かな暮らしに貢献していく」媒体であることでしょう!

コープCSネットトピックス!

コープのシネット主催 第2回 仲間づくり研修会開催!

2008年8月21日・22日・23日の3日間、島根県出雲市において、コープCSネット主催第2回仲間づくり研修会を開催しました。 仲間づくりに必要な「基礎知識」と「自らを改善する手法」を提供し、参加者のスキルアップや会員生協内でのマネージメント につなげることを目的にしています。

中国四国地区6生協から職員41名の参加、運営リーダーとして会員生協より7名、オブザーバー7名、CS職員3名、総勢 57名の研修となりました。

「対応トーク|「基本トーク|「商品トーク|などをグループで作成し、1日目と2日目は実際に出雲市内でフィールドワークを行 いました。2日間合計で、2.809軒の未加入者のお宅へ訪問し、会話・対話を合わせて1.080名の方に生協について説明する ことができました。加入7件、再訪問のお約束を頂いた方は131名となりました。3日目は、それぞれの仲間づくりの振り返りを 行いました。研修参加者からは、「他生協の行動や考え方が学べて参考になりました」「普段行っている自分の業務を再認 識できました | などの声を頂き、実りのある研修会となりました。次回は2009年2月末頃開催予定です。

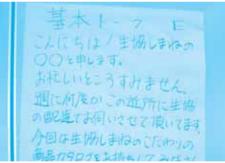


開会の挨拶をされる生協しまね 塩道専務理事



初日「基本トーク」「商品トーク」作成では、様々な 初日 全員でトーク内容を検証します。 角度から、トークを構築していきます。





作成された「基本トーク」の一例



初日・2日目ともに夜8時まで研修が続きました。



2日目 フィールドワーク出発前に、修正した「商品トーク」 の内容をロールプレイして習得できているか確認します。



2日目 フィールドワーク後、加入に結びついた実 践事例について交流をしました。



返ります。



2日目 メンバーの全員の実践事例について振り 最終日 実践事例から「気づいたこと」や「課題」を 発表します。

生協しまね くらしづくり事業部 小林様 より

研修後、チームリーダーを務めた渡部を中心に仲間づくりメンバーの団結が強まり、モチベーションが向上しました。 他生協の担当者と交流し共通の体験をすることにより、今までの仕事の進め方を見直したり、課題に対する姿勢を見直し たり、色々と刺激を受けたようです。

会議

2008年度(第4期) 第2回 常任理事会議案書

2008年7月25日(金)11:00~14:00 広島光町会議室

- 1. 諸報告並びに専決事項の報告に関する件
- (1)商品事業本部
 - ①6月度実績 ②商品事業本部 6月
 - ③商品活動推進 6月(PB,県内産品・地産地消ブランド商品実績含む)
 - ④商品企画部 6月 ⑤非食商品部 6月
 - ⑥各種委員会議事録(無店舗商品委員会、食品事業組合員交流会 非食事業組合員交流会)
 - ⑦商品事業本部 7月 中間報告 ⑧商品入庫・お届け基準の見直し
 - 9コープクオリティアイキャッチについて

(2) 専務スタッフ

- ①品質保証部 6月 ②やまぐち安心安全研究センターへの検査委託の拡大について
- ③安全政策推准室 6月

(3)事業支援本部·総合企画室

- ①常任理事会 議事録 ②事業改革小委員会 議事録(6/21)
- ③CSネット・日生協トップ協議会 議事録
- ④CSネット・日生協物流共同化推進会議 議事録
- ⑤無店舗日生協NB共同仕入進捗報告
- ⑥各種委員会議事録(物流委員会、無店舗運営委員会、無店舗日生協NB共同仕入会議店 舗商品委員会、システム委員会、管理委員会)

2. 協議事項

はそろうかな?」「さあカレーの材料

算してお買いもの。やゴミ排出量も計ノードマイレージ

- ①非食総値入移行にともなう課題と対策について ②中国加工品の再開について
- ③加盟生協開発商品の相互供給に関する覚書について(四国地区への供給に伴い)

3. 諸業務報告について

- ①決算報告 6月度 ②新グループウエア稼動に伴う代表メールアドレスの登録について
- ③組合員要望まとめ 6月度 ④利用人数週次報告 6月度 ⑤各部まとめ 6月度

2008年度(第4期) 第3回 常任理事会議案書

2008年8月29日(金)10:00~14:00 広島光町会議室

- 1. 諸報告並びに専決事項の報告に関する件
- (1)商品事業本部
 - ①7月度実績 ②商品事業本部 7月
 - ③商品活動推進 7月(PB,県内産品・地産地消ブランド商品実績含む)
 - ④商品企画部 7月 ⑤非食商品部 7月 ⑥各種委員会議事録(無店舗商品委員会)
 - ⑦味彩の印刷価格値上げについて
 - ⑧商品事業本部 8月 中間報告 ⑨中国生乳販売農業協同組合連合会からの要請について

(2) 専務スタッフ

- ①品質保証部 7月(虹の会共催PB取引先品質管理研修会報告含む)
- ②安全政策推進室 7月 ③お取引先コンプライアンス窓口の設置について
- ④畜産原料商品の遺伝子検査実施について ⑤PB商品の特定原材料の点検について
- 6鳴門海藻食品出張報告

(3)事業支援本部・総合企画室

- ①常任理事会 議事録
- ②事業改革小委員会 議事録
- ③各種委員会議事録
- ④08年度年末配送スケジュール確定版について
- ⑤ギフトシステムの検討について(中間資料)
- ⑥無店舗日生協NB共同仕入 中間報告

2. 協議事項

なし

3. 諸業務報告について

- ①決算報告 7月度 ②組合員要望まとめ 7月度
- ③利用人数週次報告 7月度 ④各部まとめ 7月度

「このコーナーでは、中国四国9生協の広報担当の方に順番に登場していただき、それぞれの生協のニュース や自慢、会員生協独自の商品や名物など、個性豊かに紹介して頂いています。第17回目は、コープえひめ機 関運営部 浜野さんにご登場いただきました!

夏休みこども企画~元気いっぱい楽しく学びました~



明をしていただきましょうのですっただきお米の学習や食事バランスガイドに見られる場所のも協力していただきましょう。 (飯は格別で、初めて包丁を持った子や嫌いしていただきました。実際自分たちで作っしていただきました。実際自分たちで作っきお米の学習や食事パランスガイドの説国農政局愛媛農政事務所へも協力してい国農政局愛媛農政事務所へも協力してい 力して





平和映画の上映会とコープえひめで 集められた折り鶴の袋詰めを行いまし た。丁寧に1羽ずつ折られた鶴に組合 員さんの平和への想いを感じました。



身近な川がどんな状態か、住む生き物 によって判断します。きれいな川にす む生き物がたくさん見つかるといいな

2008年度 会員生協への供給高 事業剰余金 2008年4月~2008年8月 累計					
	実績	計画	計画差	計画比	
会員生協への供給高	29,854,436	31,334,474	-1,480,038	95.28%	
鳥取県生協	1,634,371	1,699,651	-65,280	96.16%	
生協しまね	2,130,726	2,244,866	-114,140	94.92%	
おかやまコープ	8,166,311	8,476,229	-309,918	96.34%	
生協ひろしま	9,906,913	10,237,151	-330,238	96.77%	
コープやまぐち	3,843,615	4,040,022	-196,407	95.14%	
とくしま生協	691,599	748,437	-56,838	92.41%	
コープかがわ	983,356	1,029,406	-46,050	95.53%	
コープえひめ	1,674,698	2,004,101	-329,403	83.56%	
こうち生協	822,847	854,611	-31,764	96.28%	
事業剰余金	-42,143	89.632	-131,775	47.02%	
経常剰余金	28,224	149,382	-121,158	18.89%	
				当かって田	

くらし助け合いの会お話会



山ぱたぽんくらぶ地域で活動している ノロンシアターに、 子150名が楽 やしさ

次回は、こうち生協さん。 第9号で「次回はお酒と名産の お話」と予告を頂いております。 次は、鰹のタタキ?皿鉢料理? 何がでるか楽しみにしています

^)!!

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、過ごしやすくなってきました。空は澄んで高くなり、「秋になったなぁ」と感じます。私の秋の楽しみは、「食べること」です。秋刀魚、 栗、梨、早生みかん、銀杏、新米と様々な楽しみがあります。実りの秋は、「これから冬が来るけど、ちょっと我慢しなさいね」と神様がくれたご褒美のように感じます。 さて、今回のコープCSネット便りは、「始動!!安全政策推進室!」や「品質保証部が行く!」などの記事を中心に掲載させていただきました。今年に入ってからも、食品 に対する様々な問題が続いています。消費者が「安心」「安全」を求める中で、生協という組織に何ができるかが問われています。「組合員さんだけでなく一般消費 者の方にも、生協の取り組みを何らかの形でお伝えできれば」と暗中模索しています。



<編集責任者>コープCSネット総合企画室 担当 長谷川 直子

発行:2008年10月1日・通巻17号 生活協同組合連合会コープ中国四国事業連合 〒739-0496 広島県廿日市市大野原1-2-10 TEL: 0829-50-0633 (代) 発行責任者:三橋幸夫 発行事務局:総合企画室 E-mail:nahasegawa@hiroshima.coop